

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター センターだより



No.2

発行責任者 ● NPO法人環境ネットワーク埼玉

IPCC第4次評価報告書(第一作業部会)報告書発表されました

2007年2月1日 環境省記者発表資料の要約

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次評価報告書第1作業部会の概要は次の通り。なお、第2作業部会報告は4月、第3作業部会報告は5月にある予定です。

- 気候システムに温暖化が起こっており、人為起源の温暖化効果ガスの増加が主原因である、とほぼ断定した。
(第3次報告書(2001年)の「可能性が高い」より踏み込んだ表現)
- 20世紀後半の北半球の平均気温は、過去1300年間の内で最も高温で、最近の12年間は1850年以降で最も温暖な12年の中に入る。

○過去100年に、世界の平均気温が0.74℃上昇し、最近の50年は過去100年のほぼ2倍に上昇している。

○1980年から1999年までに比べ、21世紀末(2090年から2099年)における、化石エネルギーを重視しつつ高い経済成長を実現する社会のAシナリオでは、平均気温は約4.0℃(2.4℃～6.4℃)、平均海面水位上昇は26cm～59cmと予測している。

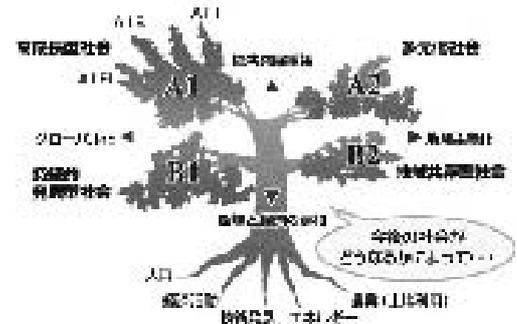
環境の保全と経済の発展が地球規模で両立する社会のBシナリオでは、平均気温は、約1.8℃(1.1℃～2.9℃)、平均海面水位の上昇は、18cm～38cmと予測している。(第3次評価報告書ではシナリオを区別せず、平均気温1.4度～5.8℃、平均海面水位上昇は9～88cmと予測) 確実性が増している。

- 2030年まではシナリオによらず10年当たり0.2℃の気温上昇を予測。熱帯低気圧は強まると予測している。
- 積雪面積や極域の海水は縮小し、北極海の晩夏における海水が、21世紀後半までにほぼ完全に消滅するとの予測もある。
- 大気中の二酸化炭素濃度上昇により、海洋の酸性化が進むと予測している。
- 温暖化により、大気中の二酸化炭素の陸地(植物による)と海洋(溶解度)への取り込みが減少するため、人為起源排出の大気中への残留分が増加する傾向がある。

気候ターゲットは2℃

- EUは、2100年に産業革命以前と比較して気温上昇を2℃に抑制する必要があると主張している。
- 温度上昇が2℃を突破するリスクは、大気中の温室効果ガスが二酸化炭素換算で、550ppmのとき68～99%の間であり、400ppmのレベルでは2℃以内を達成できる可能性が高いとされている。
(最近、二酸化炭素は1.5ppm/年の割合で増えており、このままだと後20年で400ppmになる)
- 国立環境研究所の脱温暖化2050研究プロジェクトでは、2℃を達成するためには、世界の温室効果ガス排出量を1990年に比べ2020年で10%、2050年には50%、2100年には75%削減が必要とされている。

IPCC排出シナリオ概念図(環境再生保全機構HPより)





推進員研修会報告



1. ～足利工業大学「風と光の広場」見学記～

推進員 米山 稔

平成19年1月23日、現地研修会を行いました。

施設の見学に先立ち牛山副学長・総合研究センター長よりご挨拶と映像による講演をいただきました。

足利工業大学では、学科を越えて自然エネルギーについての啓発と利用普及のため、様々な取組みを行っています。特に、各種の小型風車がたくさん回る「風と光の広場」は、平成7年（1995）3月、太陽光発電と風力発電の公開型野外実験施設として開設されました。平成13年（2001）には「太陽」と「風」に加えて「水」と「木」をテーマとした施設となり、その後も珍しい風車など新たな設備を追加したとのことです。



現在では小・中学校の「総合的学習」の時間を利用した環境教育の見学会、高等学校の風車製作実習、小型風力発電機の製作・導入を視野に入れた企業の研修会、発展途上国からの研修生の「適正技術」に関する見学会などに利用されています。

また、施設内には風と光のミニミニ博物館があり、1階は、各種風車の実機や模型、風力発電の歴史パネル、日本各地の風車パネル、風車関連グッズ。2階は、各種ソーラークッカーが展示されています。その種類と展示セット数は世界一だそうです。

ソーラークッカーは、太陽光の熱エネルギーを直接利用して調理を行うものです。全世界の人口の3分の1に相当する約20億人が調理と暖房を薪に頼っており、そのうち15億人が日常的な薪不足に悩まされているのが現状です。

また、開発途上国において木材の75%が燃料に使用されてしまうため、これが年間2万～2.5万m²の熱帯雨林の減少となってしまいます。

国連の調査によれば、このうち36%はソーラークッカーで年間500kg、世界全体では年間2.5億トンの薪が節約できると報告されています。また、ソーラークッカーは薪の節約ばかりではなく、一日数時間を費やしている発展途上国女性の薪集めの時間が節約でき衛生面からも薪による煤煙の害を防止し、汚染した水の殺菌も行えると考えられます。ソーラークッカーは構造により、反射集光型、熱箱型、パネル型などに分類されており、個々に特徴があります。

屋上は屋上緑化を施しており、太陽光の採光システムが設置され、これを利用した一階の展示室では夏の季節でもエアコンが入ってなくても涼しく感じられるとのことです。

足工大にはIDMPによる太陽光観測システムがあります。太陽光観測システムでは、国際照明委員会（CIE）において太陽エネルギーを多方面に利用するための国際的な基礎データ取得のため、世界各地の約50箇所に昼光観測所を設置し、国際昼光観測プログラム（IDMP）による測定を1991年から開始しています。日本では、IDMPにより太陽放射測定システムを5箇所に設置しており、足工大の設備もその一つです。

研修会を通して、足工大では東京ドーム4個半ほどの広大な敷地があり、前述しましたように、この「風と光の広場」は地域のみなさんに愛される、憩いの場、勉強の場として活用されています。

今回の研修で、足工大の風力発電などについての研究施設を見学し、人間と地球の共生に自然エネルギーの導入は必要不可欠であり、誰もが地球環境問題を自分自身の問題として受け止め、「与えられたエネルギーから選び取るエネルギーへ」と、考え方を変えることが必要だと実感することができた有意義な研修会でした。



2. 平成18年度 埼玉県地球温暖化防止活動推進員研修 地域ミニセミナー 報告

環境ネットワーク副代表理事 土淵 昭

今回のセミナーは、基礎研修を終わった埼玉県内214名の推進員がそれぞれの地域で活動を推進するためのネットワーク作りための出会いという目的で5箇所（新座・熊谷・春日部・川越・さいたま市）で開催しました。テーマは、「地球温暖化防止と地域の取組み」講師は、小寺昭彦氏（環境コーディネータ他）

第1部、講義

まず、講師より温暖化防止活動推進員の役割について、県知事から委嘱を受けており、地域で活動することの重要性を認識する必要がある。そのためにはそれぞれの方々が、活動をイメージして計画してほしい。との話がありました。

私たち推進員の共通の目的は、温暖化を防止するために積極的に普及啓発をし、世の中の体制を変えることは元より状況によっては環境問題全体を解決することが必要になるかもしれません。そのためには①ライフスタイル②社会システムを変えることが必要になります。

ライフスタイルの変化としては、産業革命以前の地球をベースとすると、今の人間は（日本換算）人口で30倍、エネルギー消費で1人当たり40倍、単なる生物としての存在より1,200倍の負荷を与えています。

社会システムを変えるにはトップダウンでなくボトムアップが必要です。市民が主体となって社会の体質改善をする仕組みとして長期的に推進員に期待したいです。特に推進員としては、良いモデル作りをしてパートナーシップとして地域協議会などの取組みに発展していくことを期待します。

第2部、ワークショップ（ファシリテーションを学ぼう）

グループワークを行いました。グループワーク心得としては、①ワークの目的を共有するために「納得できるまで話し合う」②1人1人がファシリテーターになることを意識し、お互いの知恵を引き出す。そして、参加しているメンバーの感情、グループの流れに配慮することによりグループ全体の成果があがる等、推進員として今後の活動に役に立つ内容を学習しました。早速、5～6人ずつのグループにより地域で実施する行動企画案をワークショップ形式で作成し・発表し意見交換で大いに盛り上がりました。

3. 企画コンペを開催しました。

平成19年2月10日、大宮ソニックシティビル4Fにおいて38名の参加のもと、初の試みとして開催された企画コンペは、素晴らしい活動内容の発表でありましたが、参加者が少なく、参加できなかった方には「もったいない（残念な）」という声がありました。

企画コンペとは、推進員が自発的に地域で活動するための企画づくりをし、実際に実行した結果を報告しあうものです。

企画コンペの流れ

<事務局：埼玉県地球温暖化防止活動推進センター>

- ①推進員によるグループを作る（または一人）⇒②企画を考える
- ⇒③センターに企画書提出、打ち合わせ⇒④実行に移す
- ⇒⑤センターに結果報告⇒⑥発表会

センターは講座の開催などに関する費用支援などをサポートします。

発表内容

1. ①環境セミナー「自然の恵み、快適な生活を次世代に残そう」

ビデオ鑑賞、講演

- ②「エコライフDAY2006埼玉」運動の推進

（発表者：川越市 齊藤 眞之助）



齊藤眞之助さんによる講座開催



さやま環境市民ネットワークによる●●の普及啓発活動



吉川スリーエコによるドレンジャーによる環境ショー



鴻巣の環境を考える会によるセミナー開催

埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

1. エコライフDAY2006埼玉の結果ができました！

平成19年3月20日（火）さいたま市産業文化センターにてエコライフDAY2006埼玉実施報告会が行われました。3月19日現在の参加者数は、夏、24.3万人、冬、16.2万人、年間で、約40.5万人となりました。実施結果の詳細は下記のとおりです



発表内容を聴く参加者



東京ガス（株）の発表状況

実施結果詳細

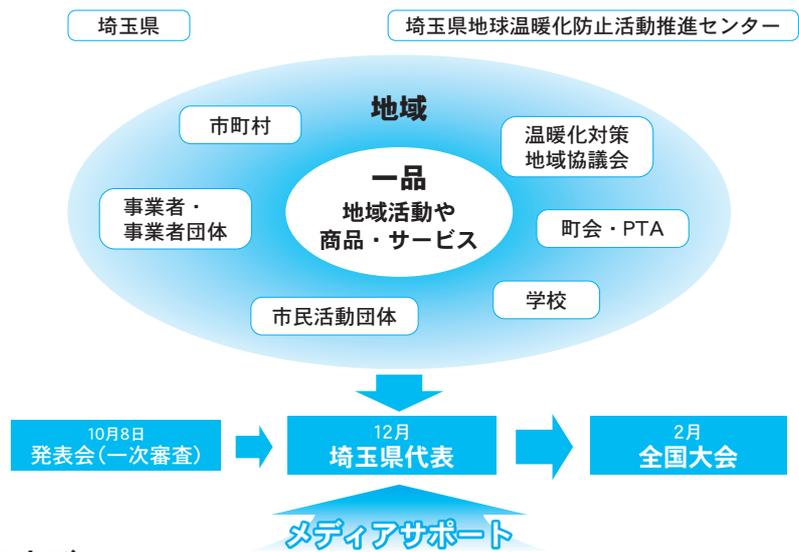
年間参加者数		年間削減量 (g)	
市町村	321,883	市町村	208,955,401
事業所	58,067	事業所	56,546,811
団体	855	団体	957,972
高校	18,357	高校	12,907,103
推進員	1,163	推進員	870,818
その他	4,557	その他	4,687,622
計	404,882	計	284,925,727

年間参加団体数	
市町村	51
事業所	166
団体	56
高校	73

2. 温暖化対策 “一村一品・知恵の環づくり” が始まります。

埼玉県代表が全国大会へ参加します。

温暖化対策“一村一品・知恵の環づくり”事業が、各道府県温暖化防止活動推進センターが中心となり全国で始まります。市町村や町内会など全国各地の草の根から地球温暖化防止のムーブメントを盛り上げようと、今年度からスタートする国民運動です。地元の市民活動団体、事業者・事業者団体、市町村など、地域の「主人公」が多くの主体や地域の人々と連携し温暖化対策のための取組を広げていくものです。都道府県ごとに公募し、審査の結果、その代表者が全国大会へ出品します。



●エントリーは6月から始まります。（9月中旬まで）

地域で行っているエコ活動や地産・知消の物産品を推進している団体はどんどんエントリーしてください。エントリー団体は、マスコミ・報道機関への情報発信やホームページで紹介させていただきます。

●地元代表の決定

10月にはエントリー団体の発表会を行い、一次審査をした後、いくつかの一品を選びます。そして12月の温暖化月間に埼玉県の代表を決定します。

●そして地元から、全国へ

選ばれた一品は2月に開催する全国大会（全国品評会）に参加します。



3. 貸し出ししています

下記のようなものを取り揃えております。イベント等の地域活動対応等でご活用ください。

◎パネル 10枚セット×2組

内容

1. 地球温暖化とは	①地球温暖化のメカニズム ②増え続ける温室効果ガス ③上がり始めた気温
2. 地球温暖化の予測	①2100年には気温が1.4～5.8℃上昇 ②日本は、世界で4番目に多い排出国 ③京都議定書発効
3. 日本の現状と課題	①平均気温は、20世紀の100年間で焼く1.0℃上昇 ②増え続けるわが国の二酸化炭素 ③民生部門の二酸化炭素
4. 地球温暖化の影響	①ヒマラヤの氷河の融解 ②年間3,000億ドル（約30兆円）以上の損害
5. 日本での影響	①2004年夏、猛暑となった日本 ②2004年、過去最多の台風が日本に上陸、集中豪雨も頻発 ③ナガサキアゲハの北上 ④自然生態系への影響、ブナ林への影響 ⑤農業への影響、食料の確保
6. エコライフDAYに関するもの	5枚

◎ソーラークッカー 2台

◎DVD ①知ろう学ぼう考えよう地球温暖化 ②地球温暖化のメカニズム ③地球温暖化の影響

④あなたが知りたいこと、私たちがお伝えしたいこと ⑤モーニング娘の奇跡の星・地球 他

現地研修会報告

1. 小川町・寄居町資源循環工場を見学しました。

埼玉県地球温暖化防止活動推進員研修の一環として平成18年11月3日、38名の皆さんと埼玉県北西部の小川町・寄居町へ現地研修に出かけました。まずはバスで小川町へ。ここではNPOふうどの高橋事務局長の講義を受けたのち、NPOふうどが誇る堆肥センターを視察しました。昼食はその堆肥を使った有機野菜の御膳に舌鼓を打ちました。

午後は寄居町にある彩の国資源循環工場に移動しました。まず、職員の方の説明を受けて、2つの工場を見学しました。ひとつは、プラスチックリサイクルの様子の説明と見学、2つ目は、サーモセレクト式高炉の工場で、その説明と設備をガラス越しに見ることができました。どちらも、工場内の有害物質、悪臭などを外に出さないよう、細心の注意を払っていることがわかりました。

今回の現地研修会によって、NPOの地道な活動とその苦勞、ごみ処理の最新技術と現状を垣間見ることができました。何より、ごみの量が多く、ごみを出している一員として非常に考えさせられるものがありました。



NPOふうどの講義を聴く参加者

2. エコ・クッキングに参加しました

平成18年12月1日、東京ガス埼玉支店の協力により推進員10名がエコクッキングに参加しました。エコ・クッキングとは、環境のことを考えて、買い物・料理・かたづけをするということです。料理を始める前に、東京ガスのエコ・クッキングインストラクターから地球温暖化防止に向けて基礎的な知識のおさらいをした後、クイズ形式による①埼玉県の特産野菜②野菜の旬あて③野菜の豆知識などの紹介がありました。その後、ガス機器を上手に使いこなして地球環境にやさしい料理の仕方の説明を受けました。いざ、料理が開始されると、男性の包丁捌きが非常にスムーズで手際よいのには大変びっくりしました。グループ単位で①ガスの使用料②水の使用料③ゴミの排出量の比較が行なわれ、改めて、エネルギーの大切さを痛感いたしました。



最後に全員でそれぞれ料理したものをいただき満足のいく研修でした。

環境ネットワーク埼玉からのお知らせ

1. 第8回さいたま環境賞受賞者活動内容

さいたま環境賞の表彰式が3/22(水)に実施されました。埼玉県地球温暖化防止活動推進センターは、さいたま環境賞を主催しています。

【県民大賞】

- (1) 大場川浮上ゴミをなくす会 (三郷市)
- (2) 国道254花の会・学校法人ホンダ学園 (ふじみ野市)
- (3) 越谷市立大袋東小学校 (越谷市)
- (4) 彩の国緑の推進連絡会 (さいたま市)
- (5) 生活クラブ生活協同組合 (さいたま市)
- (6) 戸田地球温暖化防止グループ・エコライフDAY
とだ実行委員会 (戸田市)
- (7) 特定非営利活動法人 とよあしはら (越谷市)

- (8) 柳瀬川をきれいにする会 (所沢市)

【彩の国エコアップ大賞】

- (1) 中央化学株式会社 (鴻巣市)
- (2) 東京ガス埼玉支店 (さいたま市)
- (3) 万有製薬株式会社妻沼工場 (熊谷市)
- (4) 富士ゼロックス株式会社 岩槻事業所 (さいたま市)
- (5) 毎日興業株式会社・特定非営利活動法人
さいたまスポーツクラブ共同事業体 (さいたま市)
- (6) 株式会社ロッシュ (さいたま市)

2. 平成19年度「特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉」総会開催します

下記のとおり開催したいと思いますので関係者の方々の参加をお待ちしております。

- (1) 日 時 平成19年6月23日(土) 13:30~16:30
- (2) 場 所 大宮ソニックシティビル 602会議室
- (3) その他 詳細につきましては別途関係者にご連絡します。

3. 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉会員募集について

平成19年度も会員を募集しております。一緒に活動しませんか。お待ちしております。

正会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円(1口)	5,000円(1口)	50,000円(1口)

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円(1口)	2,000円(1口)	10,000円(1口)

* 申込みに関する詳細につきましては事務局までご連絡ください。

4. ホームページについて

当センターではホームページを開設しております。その中にある「環境ネットワークプラザ」には、埼玉県内をはじめとするイベント情報や環境保全団体名簿、協働や助成金の情報を掲載しております。また、交流スペースとなっておりますので、情報、事例など、どんな小さいことでも構いませんのでどしどしお寄せください。連絡先は、info@kannet-sai.org まで



編集・発行

発行日 2007年3月20日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティビル30階

TEL: 048-649-8087 FAX: 048-649-8088 <http://www.kannet-sai.org/>

開館日・時間 平日、土・日、祝日 午前10時~午後6時(水曜日休館)

場合によっては、臨時休館日があります。情報やお知らせ等、是非お寄せください。